

図書館ボランティア通信

調布市立図書館



深大寺分館に行ってきました！！

平成27年10月15日（木）に第2回ボランティアミーティングを深大寺分館で行いました。



深大寺分館は平成23年5月に現在の場所に移転しました。調布市内の図書館では一番新しい建物です。

参加されたボランティアのみなさんも普段活動している図書館との違いに驚かれています。

←図書館の外観。

当日は天候に恵まれ、気持ちのいい青空が広がっていました！

ココが違う！深大寺分館

深大寺分館の特徴のひとつが屋上です。屋上には、太陽光パネルが設置され、緑化システムとして多肉植物のセダムが植えられています。

これらは省エネや断熱の効果があります。普段は屋上に上がれないのですが、今回は特別に屋上を見学してきました。

書架にも工夫があり、地震が起きた際に本の落下を防ぐ耐震書架が採用されています。

そのほかにも、子ども用トイレや赤ちゃんのオムツ替えスペースがあり、子連れの利用者の方が安心して過ごせる造りになっています。



↑太陽光パネルと緑化スペース

←テラス席

自然を感じながら読書が楽しめる席になっています。



館内の様子



当日は平日の昼間ということもあり、落ち着いた雰囲気でした。

また、天井から差し込んでくる陽射しが読書に最適な明るさとなっています。

本の並べ方や配置も各館で多少の違いがあり、普段活動している館と見比べて興味深かったのではないのでしょうか。例：辞典を専用のスペースではなく普通の本と一緒に並べる（混配）など。

図書館ボランティアを通して

見学後は、集会室で参加者のみなさんと交流会を行い、ボランティア活動で感じたことや嬉しかったことをお話しいただきました。その中からいくつかご紹介します。

- 宅配ボランティアでは利用者との程よい距離を保つように心がけている。
- 映画チラシの整理では自分が観たことがない作品を知ることができた。
- 書架整理中に40年前に読んで、題名を忘れ探していた本を偶然見つけることができた。
- ボランティア活動は生活の一部になっていて、毎回いろんな本に出会えるのが楽しみ。
- ボランティア活動は人に強制されて行うものではなく、自分が楽しく活動するものだと思う。天気の良い日は季節の移ろいを感じながら、自転車で本の宅配をしている。
- 次回のボランティアミーティングでは、本が書架に並ぶまでの過程や本の選定方法また修理の仕方などを聞いてみたい。

などの声がありました。ひとりひとりのお話ドラマがあり、みなさんのボランティア活動に対する思いが伝わってきました。今回いただいたご意見を今後の参考にさせていただきます。

11月になり日ごとに寒さが増してきますが、お体に気をつけながら無理をせずご自分のペースでボランティア活動を行ってください。

ご参加いただいた図書館ボランティアのみなさま、ありがとうございました。次回の図書館ボランティアミーティングは、来年2月3日（水）を予定しています。次回、お会いできるのを楽しみにしています。